

梅津和時プロフィール：ロング ver.

■梅津和時（サクソ、クラリネット）

日本フリージャズ界の先駆者として、70年代から現在に至るまで第一線で活躍を続けるマルチリード・プレイヤー、作・編曲家。その独特な音色と演奏技術・即興センスにより「管楽器を自在に操る希有なインプロヴァイザー」とNYの批評家シーンで絶賛された。70年代から詩やダンス、舞踏などのコラボレーションも多く、アレン・ギンズバーグ、白石かずこ、吉増剛造、勅使川原三郎、大野一雄、大野慶人、岩下徹、田中泯らと共演歴がある。過去の主なリーダーバンドに生活向上委員会大管弦楽団、ドクトル梅津バンド(D.U.B.)、DIVA、シャクシャイン、ベツニ・ナンモ・クレズマーなど。サポートとしては80年代RCサクセションおよび2003年以降の忌野清志郎 & Nice Middle with New Blue Day Hornsでの活躍も知られる。現在はKIKI BAND、こまっちゃクレズマ等のバンドを率い、KIKI BANDではほぼ毎年、日本とヨーロッパで単独ツアーを行なっている。近年は木村充揮のジャズアルバム『Kimura Sings』の共同プロデュース、石橋凌のCD作品でのホーンアレンジ、またカーネーションの録音や七尾旅人との共同制作も。現在も年間200本近い驚異的なライブ本数をこなしながら、さらに精力的な活動を続ける。海外アーティストとの共演も多く、これまでに演奏で訪れた国は30カ国以上にも及ぶ。

◇梅津和時オフィシャルサイト u-shi
<http://www.amagaeru.com/u-shi/>

梅津和時プロフィール：ショート ver.

■梅津和時（サクソ、クラリネット）

日本フリージャズの草分けとして70年代から活動するサクソ奏者。過去の主なリーダーバンドに生活向上委員会大管弦楽団、ドクトル梅津バンド(D.U.B.)、DIVA、シャクシャイン、ベツニ・ナンモ・クレズマーなど。80年代初期からRCサクセション、DANGER、またNice Middle with New Blue day Hornsで2009年まで清志郎と活動を共にする。現在はKIKI BAND、こまっちゃクレズマ等を率いながら、並行して様々なユニットに参加、さらに異ジャンルとの即興コラボレーションなど、年間200本近い驚異的なライブ本数をこなしながら国内外で活躍を続ける。